

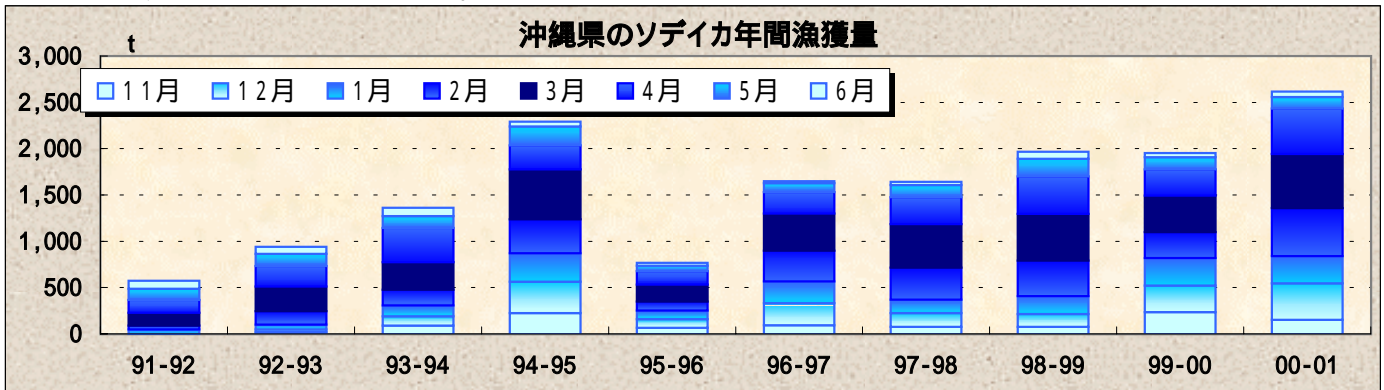
ソテイカ情報

2001年10月発行

第8号

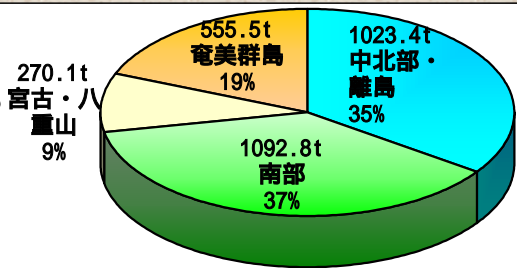
〔沖縄県内のソテイカ漁獲量の推移と今期の状況〕

下の図は、1991年から2001年までの沖縄県全体のソテイカ漁獲量です。00-01というのは、2000年11月から2001年6月の漁期を表します。漁獲量は、水産試験場が毎月各漁協から提供していただいている市場情報を基に集計したものです。市場外出荷の多いいくつかの漁協については、これも加えました。豊漁であった94-95漁期の翌年95-96漁期は漁獲量が急減しましたが、その後は比較的安定して推移していました。今期は盛漁期の3月とその前後月の漁獲量が非常に好調で、漁期全体としても2617tの漁獲があり、過去最多となりました。

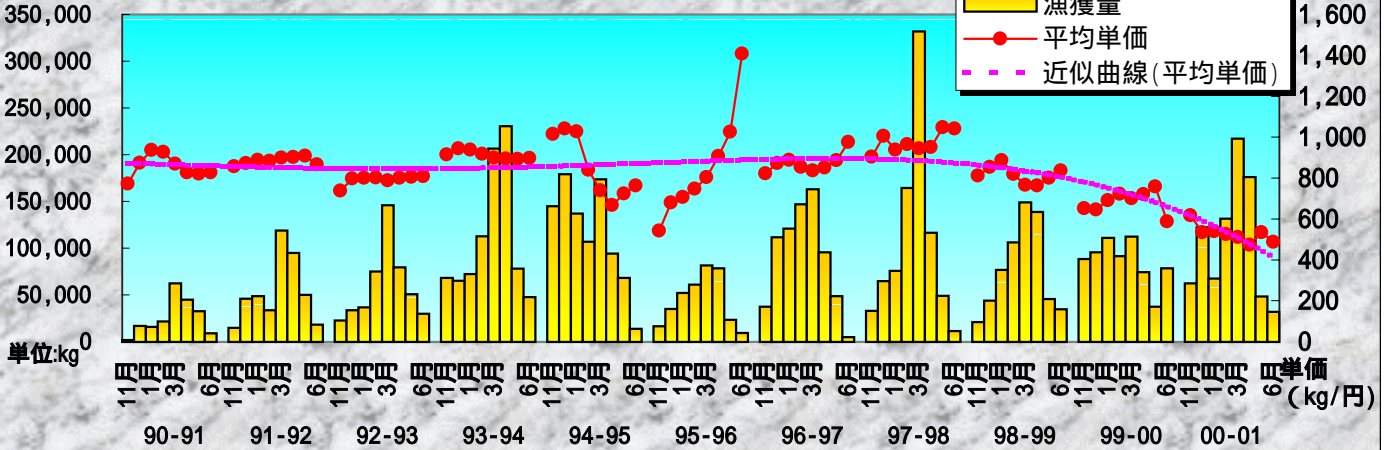


〔地域別漁獲量〕

右の図は、沖縄県内と奄美群島の漁獲比率について示したものです。奄美でも漁獲が急増し、前年(257.5t)の約2倍となっています。この海域全体では、前年の3割以上漁獲量が増加したことになります。結果として、沖縄・奄美海域では、今期3,000t近い漁獲がありました。

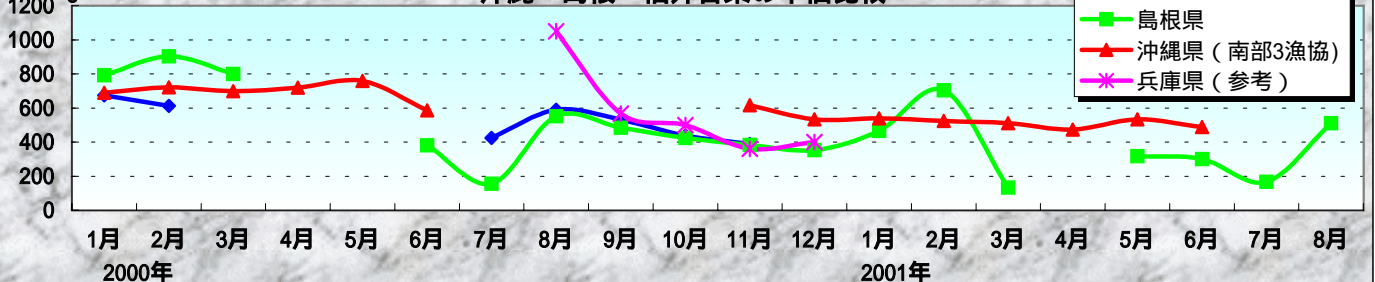


南部3漁協における月別漁獲量と平均単価の推移



単価kg/円

沖縄・島根・福井各県の単価比較

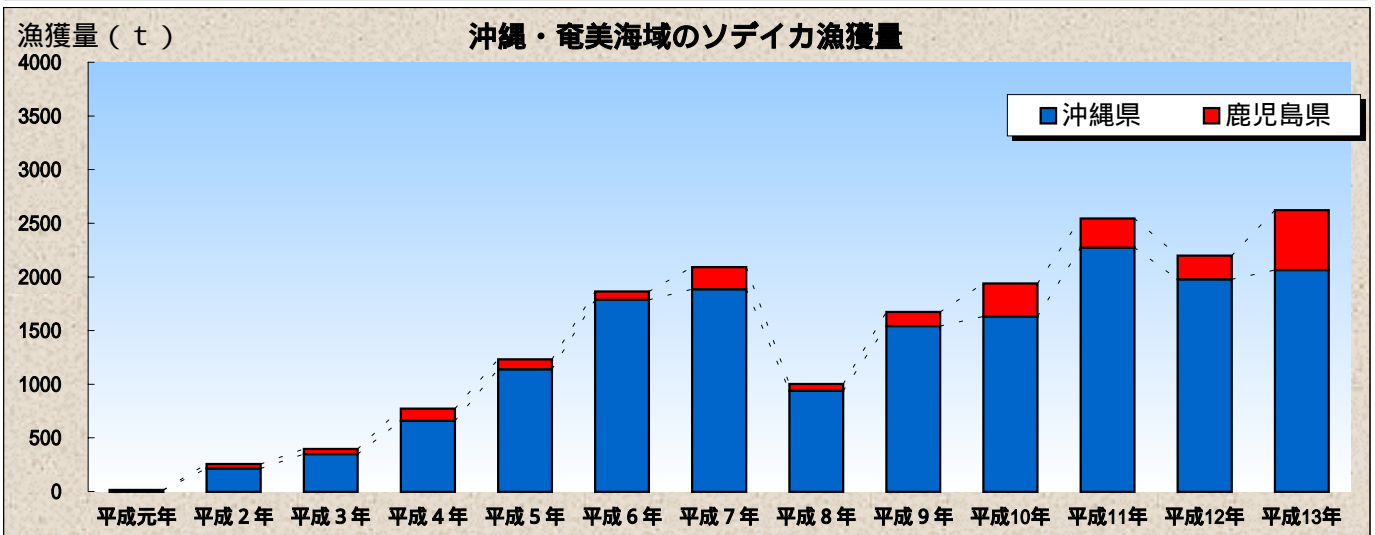
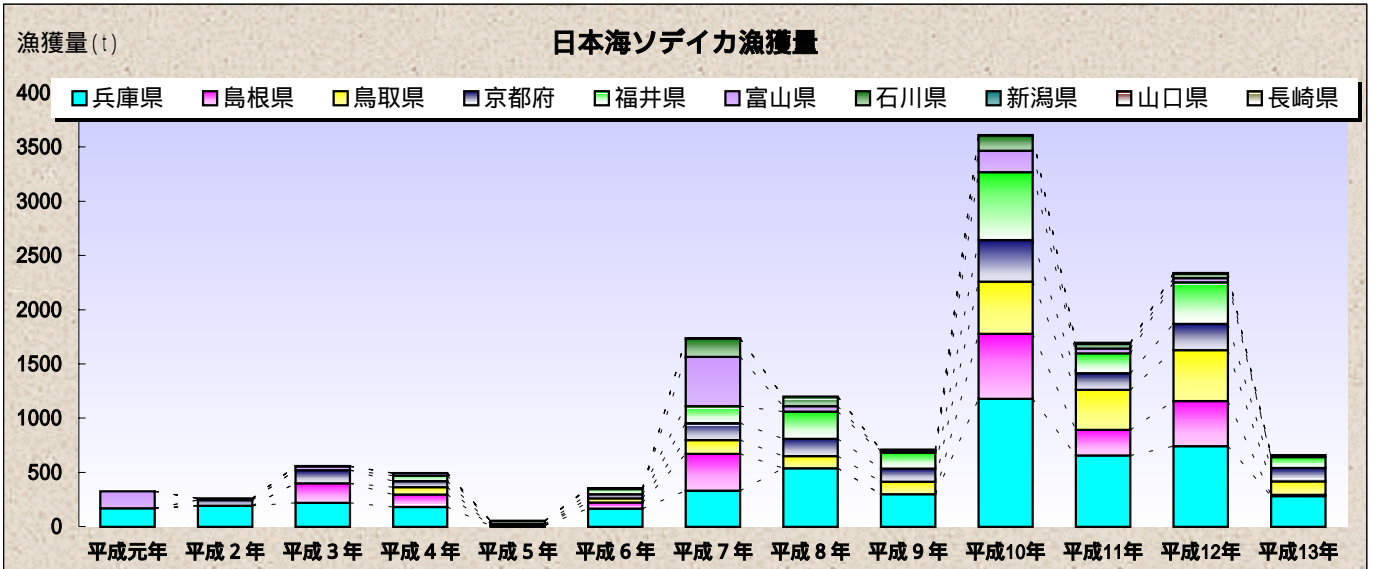


*漁獲量・単価は南部3漁協(糸満・知念・港川)の漁獲データを基に算出した。

*福井・島根・兵庫県の価格データは各県水産試験場のデータ提供による。

沖縄県水産試験場

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号
 電話 098-994-3593・3597
 ファクシミリ 098-995-2357



*漁獲データは、鹿児島・島根・鳥取・兵庫・京都・福井・富山・石川・新潟の各水産試験場のデータ提供による。

【ソデイカの漁獲量と単価】

左側の上図は、南部3漁協（糸満・知念・港川）でのソデイカの月別漁獲量と平均単価について示したもので漁獲量と価格の関係は、様々な要因が影響するため、単純に漁獲の増減が価格に反映するとは限りません。しかし98-99漁期以降、ソデイカの平均単価は下落傾向にあり、前期の平均単価は611kg/円でしたが、今期の平均単価は527kg/円でした。

左下の図は、2000年1月から2001年8月までのソデイカの平均単価について福井県・島根県・兵庫県と沖縄県本島南部3漁協を比較したものです。日本海側ではソデイカの漁期のピークは10月から12月になっていています。また、日本海側と沖縄・奄美海域での漁獲サイズや、また出荷形態が異なっています。日本海側では小型のものを鮮魚・ラウンド状態で出荷し、奄美・沖縄では冷凍、ロール・短冊状態で出荷します。このため一概には言えませんが、価格は相互に影響しているのではないかとみられています。

【日本海のソデイカ漁獲量】

右上の図は、日本海側各府県のソデイカの漁獲状況を示したものです。統計の整備がなされていないため、過去のソデイカの漁獲状況ははっきりしません。ソデイカの漁獲量が最も多いのは兵庫県で、他に京都府・島根県・鳥取県・福井県・富山県も漁獲が多くなっています。奄美・沖縄近海と異なり生息深度が比較的浅いため、定置網によって集中的に漁獲されることもあります。平成12年は、最も漁獲の多かった平成10年に次ぐ漁獲量でした。